



臨床研究に関する情報の公開

作成日：1.0版 2022/11/29

研究課題名	慢性閉塞性肺疾患患者の最大口腔内吸気圧と動的肺過膨張，横隔膜機能に関連する因子の検討についての後方視研究
研究の対象	健常高齢者：「COPD患者の横隔膜動態が換気応答に与える影響」(no. 31-086)で研究参加同意を得た健常高齢者 COPD患者：2019年4月～2022年11月までの期間に呼吸リハビリテーションを実施した慢性閉塞性肺疾患患者 選択基準 対象患者は下記のすべての基準を満たす患者とします。 <ul style="list-style-type: none">● 対象患者は下記のすべての基準を満たす患者とする。● 1) ADLが自立しており，運動に制限が生じる整形・心疾患がない65歳以上の患者● 2) 主要臓器（骨髄，心，肝，腎など）に高度な障害がない患者
研究目的・方法	近年，サルコペニアが注目されていますが，それに伴う呼吸筋サルコペニアも呼吸器疾患領域において注目されてきています。呼吸筋サルコペニアは呼吸筋力で診断されますが，呼吸筋力に関連する要因はまだはっきり解明されていません。本研究の目的は，過去の研究，診療で得たデータに基づいて，呼吸筋力に関連する要因について健常高齢者と慢性閉塞性肺疾患のデータを比較し，調査することです。 「COPD患者の横隔膜動態が換気応答に与える影響」(no. 31-086)で研究参加同意を得た健常高齢者の方々は研究実施時に得られたデータのみを本研究に利用します。当科で慢性閉塞性肺疾患に対する治療を受けられた患者様のうち，上記選択基準に該当する患者様を対象として，診療情報のみを本研究に利用します。利用する情報は，患者様個人が特定されないようにした上で，個人情報に関しては，厳重に管理します。なお，それらの情報を他の機関へ提供することはありません。
研究に用いる資料・情報の種類	以下の情報を，カルテ診療録，過去の研究測定データより収集致します <ol style="list-style-type: none">1. 口腔内最大吸気圧2. 基本情報：年齢，性別，体重，body mass index3. 肺機能検査（肺活量，一秒量，一秒率，最大吸気容量）4. 心肺運動負荷試験5. 6分間歩行試験6. レントゲン画像（COPD患者）7. 肺気腫の程度（COPD患者）8. 身体組成測定9. 横隔膜移動距離10. 胸鎖乳突筋筋厚
外部への資料・情報の提供	本学単独研究のため，外部への資料・情報提供はありません。
研究組織	研究責任者 リハビリテーション医学 臨床教授 東本 有司（医師） 研究分担者 リハビリテーション部 水澤 裕貴（理学療法士）



近畿大学病院 [リハビリテーション科]

	研究分担者 リハビリテーション部 白石 匡 (理学療法士)
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、 研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。なお、情報の利用 を拒否しても不利益を被ることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2 連絡先：近畿大学医学部リハビリテーション医学教室 臨床教授 東本有司 連絡方法： E-mail: yhigashimoto@med.kindai.ac.jp 電話：072-366-0221 内線：8570</p>
情報の管理に責任 を有する機関の名 称	近畿大学医学部